

すぎで、意外に知らない、水のこと

全日本中学生

水の作文コンクール

作品募集

日ごろ食べている食材は
水が多量に必要である
ことを知っていますか。

蛇口から出てくる
水はどのように来る
のか知っていますか。

最近の気候変動は
水に対して影響している
ことを知っていますか。

質問の答え
は裏面に
あります

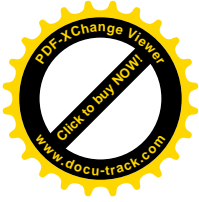
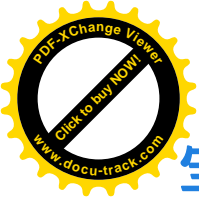
考えてみよう
知れば見えてくる
水のこと

○応募対象：令和7年度に県内に在住または在学の中学生
 ○メインテーマ：「水について考える」（個別の題名は自由）
 ○募集締切：令和7年5月9日（金）必着
 ○作品の送付先（電子データでのご応募も可能です）
 〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号 千葉県総合企画部水政課 水資源・水利班（TEL:043-223-2273（直通））
 電子データの送付先：suisei3@mz.pref.chiba.lg.jp
 その他詳しい情報は「千葉県 水の作文コンクール」で検索
<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sakubun/index.html>

参加賞
あります



千葉県総合企画部水政課



実は知らないことが多い「水」のこと 考えてみませんか？

水が蛇口から出てくるまで

私たちが使う水は、川や地下水から取っており、千葉県の場合、水道水の約7割は利根川の水でまかなわれています。

利根川は雨が降らないと流量が少なくなるため、水を必要なときに使えるように上流に造ったダムで雨水を貯めています。ダムで貯めた水は必要に応じて川に流し、下流にある取水場から水を取り入れています。その後、浄水場できれいにした水が、水道管を通して各家庭に配られます。

このように蛇口から出る水は、多くの過程を経て、たくさんの方が携わってできています。

気候変動と水

近年、急激な気候変動の影響で雨の量や降り方が変化することにより、洪水などの水害や干ばつによる水不足が問題となっています。

こういった気候変動などの影響により、世界の多くの地域で水不足が深刻化しています。

日本においても全国各地で取水する水量が制限される渇水が発生しています。水は限りあるものであることを忘れずに、私たち一人一人が普段から節水を心掛けることが大切です。

食材と水

全ての水の使い道の中で、私たちが暮らしで使う水は1割程度に過ぎません。実は農業や工場でする水が、9割近くを占めています。

特に農業で使う水は、米や野菜・果物を生産するためにたくさんの水を必要とし、牛や豚や鶏を育てる飼料を生産するためにも、たくさんの水を使っています。

食糧を海外から大量に輸入している日本にとって、世界の水問題は日本の水問題でもあるのです。

「水」について考えたことを作文にしてみませんか？

テーマは「水について考える」

作文の題名は自由に考えよう

応募締切：令和7年5月9日（金）必着！



水のはなし

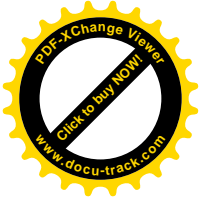
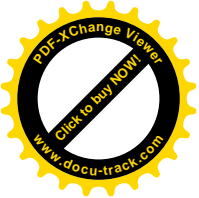


節水のコツから千葉県の水事情まで水にまつわる情報が盛りだくさん！

「水のはなし 千葉県」で検索

URL：<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/kids/mizu.html>





第46回「全日本中学生水の作文コンクール」の実施状況（令和6年度）

応募状況

応募数：7, 516編（うち千葉県 120編）
 学校数：228校（うち千葉県 3校）
 【内訳：私立3校】
 【うち個人応募：私立2校】

千葉県地方審査会表彰

最優秀賞1名、優秀賞2名、奨励賞2名、学校賞1校 を表彰



令和6年8月7日（水）
千葉県地方審査会表彰の様子



千葉県庁での
表彰作文の展示

千葉県地方審査会では、各個人賞のほか、学校として作文に取組み、ご応募いただいた中から、「**学校賞**」を表彰しています。

また、本県の表彰作文（上位5名）は全国の中央審査会に推薦します。

千葉県推薦の中から、平成29年度は経済産業大臣賞（優秀賞）を受賞しました。国機関での一日事務所長など副賞も用意され、生徒の貴重な体験となりました。

「水を考えるつどい」中央審査会表彰式



令和5年8月1日（火）
中央審査会表彰式の様子



国土交通大臣あいさつ



内閣総理大臣賞（最優秀賞）

田んぼの水に思いをはせる

東京都

新宿区立西早稲田中学校 にしわせた 二年

秋永 あきなが 橘香 きつか

「水」といって私が一番最初に思いつくのは田んぼの水だ。まだ、幼稚園生だった頃、東京から田んぼや畑が多い地域に引っ越した。ここでは、父に連れられて何度も田植えに行った。田植えの仕方は農家のおじさん達が教えてくれた。水路や堰を管理する土地改良区という組織のおじさんだ。

田植えが終わると、生き物採集が待っていた。毎週毎週、長靴と着替えを持って出かけて行った。おじさん達、地域の小学生と夢中になって、たも網で田んぼや水路をすくった。一緒に水路をすくった小学生とは不思議とすぐに仲良くなれた。捕った生き物を大きな桶に集めた。メダカ、ドジョウ、タモロコ、ギンブナ、スジエビ、水棲昆虫、桶に入りきらない大きなコイ、ナマズが捕れることもあった。私は、すっかり田んぼの生き物が好きになり、自分用のたも網、水槽を揃え、家族で生き物を探しに行くようになった。

稲刈りも終わり、冬が訪れた。少し寂しいと思いつながら田んぼを見に行った。田んぼに水はなく、稲の切り株が寂しそうに残っていた。小鳥のさえずりがかすかに聞こえたが、生き物の気配は消え、静まり返っていた。

ドジョウが隠れているかもしれないと思い、水路の小さな水たまりを、たも網ですくってみた。ワア、思わず声をあげてしまった。網の中に、わずか二、三匹の小さな鮒が三匹、ピチピチと跳ねていたからだ。小さな水たまりに身を寄せ、春を待っていたのだ。こんなに小さくても、一生懸命に生きている。そう思い、慌てて私は小鮒を水路に返した。小さな水たまりが小鮒の命をつないでいたのだ。私もまだ小さかったが、水が命を支えていることを強く感じた。

小学校二年生の時、再び東京に住むことになった。田んぼや水路からは遠く離れたが、そこでの楽しい記憶は鮮明に残っている。

田んぼの水に思いをはせ、人と水について考えてみた。一枚一枚の田んぼを潤す水は、日本人の命を育むお米を育てている。張り巡らされた水路は血管、田んぼをめぐる水は、まるで血液の様だ。人間の体では血液に肺が酸素を供給、肝臓が有害物質を分解、腎臓が老廃物を除去している。この他、心臓、胃や腸、多くの内臓が各々の役割を果たし、命を支えており、どれかが停滞すれば、病気になってしまう。

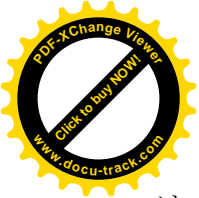
水も血液と同じだ。汚れたり、不足すれば、人間は生きていけない。田んぼの水も、雨水を蓄える森林、川、ダム、堰、水路、田んぼ、これらが、多くの人々の絶え間ない努力によって守られ、しつかり役割を果たしているからこそ守られているのだ。

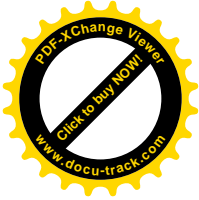
田んぼや水路について、知りたくなり、インターネットで調べてみた。血管のように張り巡らされた水路の長さは、四十万km、地球10周分に相当する。優しくしてくれた土地改良区や農家のおじさん達が昔から大切に守り続けてきたものだど知り、とても驚いた。

更に調べると、田んぼや水路は、お米を作る以外にも、とても貴重な役割を果たしていることが分かった。雨水を貯めて洪水を防ぐ、土砂崩れを防ぐ、川の流れを安定させる、地下水になる、水を浄化する、気温の上昇を緩和する、生物多様性を保全する、癒しや安らぎをもたらす。この多面的な機能が東京に住む私たちを含むすべての人々の生活を支えている。

田んぼの水はお米の中に蓄えられ、それを食べた人に吸収され、体で作られる。私達が安心して健康に過ごすためには、田んぼや水を守り続けなければならないと強く思った。

水のために私ができることには限界があるが、水を無駄にしない、油や汚い水を流さない、お米や野菜をおいしく食べる。最後に、田んぼや水を守る人達への感謝の心を大人になるまで持ち続けることを決意した。





千葉県地方審査会 最優秀賞

【未来へ繋ぐバトナー今でできることを】

松戸市立小金南中学校 三年 森實 亜利彩

「早く起きなさい、早く、学校に間に合わないわよ。」
またかあ。姉が体調不良になって以来、毎朝母のこの声で私は起こされる。

「水分を摂らなきゃダメよ。はい、白湯。」
姉へ向けられた母のこのおきまりの言葉も、私を不機嫌にさせる。聞けば、姉の体調不良は自律神経のせいらしく、この神経のバランスを整え、血液循環を良好に保つためにも、一日千五百ml〜二千mlの水分が必要らしい。数日前にテレビで暑熱順化ができないと、汗を上手にかけず熱中症になる、と聞いていた。そのためにもこまめな水分補給は体にとって大事なのだそう。調べてみると、人間の身体は体重の約六十パーセントが水分で出来ており、人間にとって水は、もちろん命の源であるが、少し足りないだけでも健康な生活を送れなくなってしまう程重要な存在なのだ。

普段何気なく使っている水、手を伸ばせばすぐ蛇口から勢いよく出る水、これがいかにありがたいことなのか考えさせられる出来事が一月一日、能登半島で起きた。この地震で多数の水道管が損傷し、十一万戸で断水がおき、水道職員の方々の懸命な努力により、復旧工事が進められた。私の住んでいる千葉も最近地震が頻繁に起こる。もし今日、大きな災害が来たらと思うと、一刻の猶予もない気がした。今、自分ができることを、今やらないと後悔する。私は直感的にそう感じ、「南中避難所お助け隊」のボランティアに立候補した。風水害体験や地震体験を通じ、防災への基礎知識を身につけ、いざ災害が起こった時に必要なものは何で、どう対応すれば良いのかを主体的に動ける能力を身に付けたい。

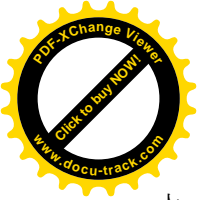
また、最近サーキュラーエコノミーという言葉をよく耳にする。今後、地球温暖化による気候変動に伴い、世界的な水不足が起こることが予測されている。人は一日平均二百八十三リットルもの水を使用する。水は大切な資源であり、無限にあるものではない。水は私達の生活を

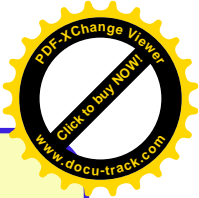
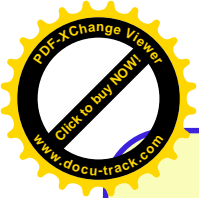
豊かにしてくれる。だからこそ水の適切な循環のために、できる限りの節水はもちろん、油汚れを水に流さない、洗剤やシャンプーを最小限の使用に抑える等、自分が今でできることから即行動し、水資源のサーキュラーエコノミーを継続して実践していきたい。なぜなら、一度使用した水を浄化させるには、多くの労力と時間が必要だし、巡り巡って自分達に返ってくるものだから。更に、私は循環とは異なった水の活用方法があることを春休み、大学の研究室訪問で学んだ。ここでは、二酸化炭素に水を加えると電気分解されて、次世代エネルギーである水素と合成ガスの原料の一つである一酸化炭素を造り出す新技術を研究しており、私もその工程に参加させてもらった。これは、地球温暖化の課題解決となる二酸化炭素を人工的に削減できるものであり、カーボンニュートラルの実現が可能となる。その新技術にも水が役立っている。水は人間の生命や健康維持だけでなく、産業や工業の技術開発分野、動植物に至るまで必要不可欠な、代え難いものなのだ。

水の力は偉大だ。普段当たり前すぎて私達は水の恵みに感謝の念を示すことすらしない。だが、水は人間が健康な生活を送るために真っ先に必要な存在なのだ。水の尊さを理解した今、できることを考え、行動に移し続けることが大事だ。これが将来を担う私達にできる第一歩だと思ふ。この行動を一人一人が責任を持って繋げていけば、限りある水は未来の私達や新技術に受け継がれ、循環し、また私達の手に透明な水がもどってくるはずだ。

四月になり、姉の体調が回復した。
「はい、白湯。」

一杯の水の大切さを知った今、母のこのおきまりの言葉も素直に受け入れられる気がした。水に目を向け、現状を知ったことで私の意識は確実に変わった。





水のはなし

○水のはなしについて

「水のはなし」は、日頃私たちがなげなく使っている水について、その役割や大切さをまとめたものです。

子どもたちにも親しめるように写真や絵を取り入れ、千葉県に関わる広範な内容を掲載しています。昭和51年に初版を発行して以来、小学生をはじめとして、広く県民のみなさまに利用されてきました。

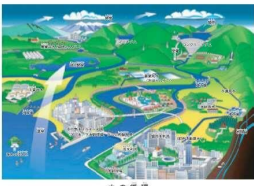
作文コンクールの題材探しをはじめとした、水に関する学習の資料に利用できますので是非ご活用下さい。

【内容例】 もくじから

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1 地球の水 | 2 水とわたしたち | 3 千葉県の水資源 | 4 水を利用する |
| 5 水をむだにしない | 6 関係図と表 | 7 資料編 | |

(3) 水の循環
水は、姿を変えながらいつも動いています。流水は、矢張り、流れて蒸発して雲になります。雲は、やがて雨や雪となり、川や地下水となってまた海にもどります。
このように、水がいろいろなところを動いていることを、水の循環といいます。

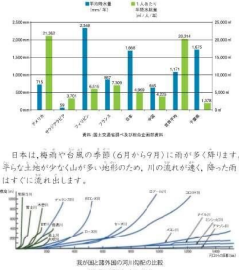
(4) 水の利用
わたしたちは、生活にあるほんの少しの水を、川や地下水から使っています。しかし、川の川や地下水は、雨が降らないと少なくなったり、雨が長く続くと川の水が干涸び、はらんだりするなど、いつでも使いやすわけではありません。
使いたい水を必要なときにとるために、雨がすぐに流れ出さないように、山に水を溜めたり、ダムをつくらせたりして水を貯めます。



水の循環

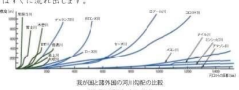
(5) 日本に降る雨
わたしたちが暮らす日本で1年間に降る雨や雪などの量は、世界の平均と比べて約1.5倍になります。
しかし、日本人一人あたりにすると、世界の平均の約4分の1と少ないです。(1977～2021)
このように日本は、雨は多いですが、一人一人が使えらる量は少ないのです。

世界各産と千葉県の降水量
単位: mm/年
1977年～2021年
平均値



日本は、梅雨や台風の季節(6月から9月)に雨が多く降ります。平均的な量が少なく雨が少い時期のため、川の流れが速く、降った雨はすぐに流れ出します。

我が国と世界平均の月別降水量の比較
単位: mm/月
1977年～2021年
平均値



利根川では、千葉県や東京都などで使う水を生み出すために、自然の川をダム建設前後に取り替えています。
ダムをつくることで、たくさんのお水が溜まるので、冬の間でも使うことができます。
そこで、その地域の人のための灌漑や発電を兼ねながらダム建設に取り替えています。

(3) 水資源開発 (ダムの建設)
利根川上流の利根川には、飯沼川、清澄川、新田川など高さ約300メートルを築き立てられています。
このほか、養老川、小碓川、荒瀬川などが建設されていますが、長さが短く、流域も小さいので、水の量は多くありません。
地下水はほとんどない千葉県の中では、このお水が川の水を、生活用水、工業用水、農業用水とするためにダムをつくらせたり利用しています。
北部には、宇都宮池を流れる荒瀬川、養老川、荒瀬川などがあります。
北部は人口が多く、工業や田畑も多いので、これらの川の水は地下水を掘ったり、井戸川、養老川や荒瀬川からも水を取り入れています。



○入手方法について

以下の千葉県ホームページ上で公開しております。

(データのダウンロード、印刷も可能です)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/kids/mizu.html>

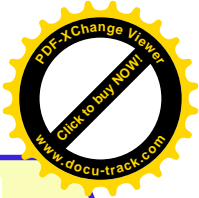
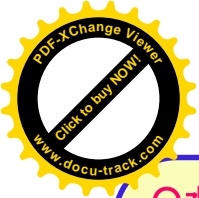
※紙冊子での配布は行っておりませんのでご了承下さい。

水のはなし 千葉県

検索



QRコードからもアクセスできます



○水に関するホームページの紹介

「水の作文」を書くときの参考になりそうなホームページを千葉県ホームページ上で紹介しております。

https://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sakubun/mizu_homepage.html

水に関するホームページの紹介 千葉県

検索

その中から一部をご紹介しますので、参考にしてください。



QRコードからもアクセスできます

水資源・ダム

- 環境省 バーチャルウォーター

(https://www.env.go.jp/water/virtual_water/)



- 林野庁 水源の森をつくり育てる

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/suigen/suigen/index.html>)



- 一般財団法人日本ダム協会 ダム便覧

(<http://damnet.or.jp/Dambinran/binran/TopIndex.html>)



節水

- 千葉県水政課 意外とカンタン！節水の方法

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sessui.html>)



防災

- 国土交通省 川の防災情報

(<https://www.river.go.jp/index>)



上下水道、工業用水、農業用水

- 国土交通省（上下水道）

(https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/watersupply_sewerage/index.html)



- 経済産業省 工業用水について

(https://www.meti.go.jp/policy/local_economy/kougyouyousui/)



- 農林水産省 農業用水について

(https://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/kurasi_agwater/)



環境

- 環境省（水・土壌・地盤・海洋環境の保全）

(<https://www.env.go.jp/water/>)



主な千葉県の水

- 印旛沼水質保全協議会

(<https://www.insuikyoku.jp/>)



- 手賀沼水質保全協議会

(<https://www.tesuikyoku.jp/>)

